

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)からの転載です。全て南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見としてお読み頂ければ幸いです。**不定期発行**です。

編集・発行 新潟県長岡市 NPO 法人ながおか生活情報交流ねっと

soiga01@gmail.com 山古志村のマリの応援で発行です

配布避難所:新潟県長岡市内、長野県飯田市内

PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

...

東北の関西人 被災者と被災地で働く全ての人々がまた普通の生活に戻れますように。2011-04-10

<http://ameblo.jp/morimarion/entry-10858455224.html#main>

- 3月11日 大きな地震が起こる・水が止まる
- 3月12日 水復旧・電話が止まる
- 3月13日 ダンナ避難所へボランティアに行く
- 3月14日 ダンナ避難所へボランティアに行く・妻仕事
- 3月15日 午後から大阪へ向け避難する
- 3月16日 24時間かかって午後大阪に着く

(大阪で避難生活)

- 3月31日 大阪を出る・静岡で友人と再会、1泊
- 4月1日 名古屋の伯母の家で1泊
- 4月2日 南相馬市に戻る
- 4月3日 松川浦を見に行く
- 4月4日 南相馬市の海を見に行く
- 4月5日 待機
- 4月6日 義両親が一時帰宅
- 4月7日 義理両親、仙台へ帰る
- 4月8日 大きめな余震
- 4月9日 いろいろな仕事相手に連絡、支払い
- 4月10日 ボランティア参加

そして4月11日

いろいろあったけどたった1ヶ月の出来事

消防、警察、自衛隊、コンビニ、佐川急便、個人商店…
いろいろな人のおかげでかろうじて生活できるような日々

この日々もいつまで続くのかわからない
東北電力を始めあらゆるライフラインを守ってくれている人にも感謝しています

あと15分で1ヶ月
東電の原発事故、風評被害、人々の混乱
まだ何も始まっていない町
1ヶ月前のまま時間が止まった町
その町で

死んでいったすべての命に黙祷します
残ったものは残ったものの定めとして
何が何でもがんばります

だから、心安らかに…

黙祷

#####

大震災から一ヶ月。今思う“安心と安全”について 第一子と猫、時々 結婚&コラム

大地震に臆する事無く、3月17日無事に第二子が産まれました
($\geq \varepsilon \leq$)

http://blogs.yahoo.co.jp/pure_mamotec/37314272.html

2011/4/11(月) 午後 6:56

一ヶ月前の3月11日午後2時46分頃、東北地方・沿岸の人々には忘れてたくても忘れられない日となってしまった。

“震災”という言葉だけでは決して言い表せないこの惨劇。世界に誇る日本の技術と知恵を持ってしても、自然が起こした“破壊”と言う名の行為にはまったく歯がたたなかった。

その津波の被害で福島第一原発一号機が壊滅的な打撃を受け恐れていた〈放射能〉の漏洩、そして半径20キロメートル圏内の住民への避難指示。30キロメートル圏内の住民には自宅退避を指示。どこからか沸いてきた風評被害。最早【福島県＝放射能汚染地域】と言っている様な報道。国や当事者(東京電力)は『想定外』を恰(あたか)も“天災である”と言うことをアピールするかの様に連日白昼間わずに連呼。国政・県政選挙の様な、馬鹿の一つ覚えにしか見えない。

今回、最悪の事態を招いたのは他にも無い【津波】である。津波が無ければ地震による家屋の倒壊はあったにしてもここまで甚大な被害になることは無かつたろう。福島第一原発一号機の件は別として、『何故、こんなにも人的被害(死者・行方不明者)があったのだろうか? 一つは

【津波に対する警報のありかた】

だと思ふ。それは何か? 記憶に新しいスマトラ沖地震等で津波の猛威は十分に知っている現代人ではあるが、津波警報は大体いつも大した事が無い。『1メートルの津波の〜』という津波警報が出ても実際は5センチメートル程度の潮位変化しない事がざらである。(別に気象庁の観測に文句をいっているのでは無い。それが今の技術では限界だって事である。)

『それしか変わらないなら大した事が無い』

と人はだんだん思うようになってしまう。それが今回の被害を大きくした原因の一つであろう。

二つ目は【津波に対する知識がだんだん風化してきた・津波は対岸の火事と思っている】という事。かくいう私もその一人であるが…

と言うのも岩手県の一部の地域を除き、“津波”というものの本当の恐ろしさを知らない年代になった。いや、例え知っていても『絶対にここまでは来ない』とタカをくくっていた人も多かったと思ふ。

3つ目は、【ラジオを聞く人口が極端に少ない】という事ではないだろうか。停電になったらパソコンは元より、インターネットでさえ繋がらない。家庭でごく一般的な情報源のテレビすら映らない。そうなった時に頼りになるのは他ならぬ“ラジオ”である。このブログを見ている方達で震災前にラジオを持っていた人は何人いたのだろうか? 私の想像でしか無いが多分、ほんの数人いれば良いだろう。

また車で走行中でも同じ事が言える。【大規模災害＝ラジオを聞く】という行動をとる人は一般的に少ないはずである。もちろん車の中でもワンセグは見れるが、やはりこんな時はラジオが一番タイムリーな事を伝えてくれる。

3月11日の津波直前に家に帰ろうとした人も少なくない。私の知り合いでもそれで命を無くした。これは私の想像だが、音楽を聞く人だったのでラジオにする事もしなかったのだろう。ウチの相方と3時40分頃に合流した際も車内ではラジオでは無くCDを聞いていた。そ

れを聞いただけだと、『音楽を聴いていた方が少しでも落ち着くから』と言っていた。分からないでも無いが……………でもやはりラジオである。

上記3つを上手く利用すれば果たして人的被害はゼロになるか? って言えばそれはならない。だが今回の被害よりは少なくなる事は間違いないはず……………

私達人間はどうか足掻いても自然がの災害に太刀打ちする事は出来ないし、自ら自衛に力を入れたとしても叶う相手では無い。では一体どうすれば良いか?

人間は“知恵”という武器がある。その武器を最大限活用し、予防線を張る他方法は無い。事があってからでは遅いかも知れない。でもやらないよりはずっと良い。私は人間が地球という星で生活している以上、【100%安全】という生活は無理だと思う。でも100%に近づける事は出来るし、それによって【安心】を手に入れる事が出来るはず。

『備え在れば憂い無し』

それだけは忘れてはいけない。

まだまだ言いたい事があるが、何故かまた震度6の地震が来たので次回ににする。

最後になったが、今回の震災で尊い命の失った皆様へ心よりご冥福をお祈りすると共に、ご親族の皆様へ心より哀悼の意を捧げます。

また自然が生み出した津波という暴挙に、住まいや大切な思い出を無くしてしまった方々、田畑を瓦礫という名の副産物で多大な影響を受けた方々、船や養殖場を流され漁業生活を寸断された皆様方にお見舞い申し上げます。

#####

山古志村にて

ありがとう 被災者になって学んだこと、考えたことなどを毎日かいていきます。大変だけどありがとうを忘れないでいよう。

<http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-10858805820.html>

2011年04月11日(月)20時41分06秒

こんにちは、キャナです。

昨日、山古志村へ行ってきました。

山古志村は中越地震で大きな被害にあったところです。

復興してきれいになっている、と聞いて南相馬も見習わなきゃな！！と思い、いってきました。アルパカさん見たかったな・・・なんていうことはおいて。

山古志村の方々はおもってもっとあたたかくて、お昼ご飯までご馳走してくれるという、心の広い方々が多いです。

初対面の人に揚げたてのてんぷらを食べさせてくれ、地震の時の山古志村の状況を話してくださいました。

・・・4時間も。

とてもありがたかったです。

山古志村の方と話していると必ず出てきた言葉があります。

「中越地震のときも大変だと思ったけど、今のほうがもっとも大変だ。復興までいくらかかるか、もっとわからない」

きっと大変な思いをしているからこそ、私たちの心の痛みをわかってくださっている。

私はそう思いました。

山古志村に行ったのはたった一日だけだったけど、その中でかけがえのない絆と人のあたたかさを教えていただきました。

アルパカの毛を触らせていただきましたが、とてもさわり心地がよかったです^^

今度来たときはアルパカがいる時期に、野馬追いまんじゅうでも持って行って復興までのお話をしようかな、と思っています。

#####

南相馬市から4月11日

サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-04-11 18:56:24

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/d3bd942a0a272b330f9f665e4caae33d>

65e4caae33d

今日で1ヶ月がたちました。そして、屋内退避から緊急時避難準備区域？になりました。

今更、言われなくても、皆さんいつでも何かあったらすぐに避難できるようにしているようです。大事なものは、早く原発を何とかしてくれということです。すべては、原発しだいなのだから、放射能が脅威なのだから、元を

絶たなきゃ何も解決しないよね。地震のたびに、みんなが思うことは、原発は大丈夫かと考えてしまうことです。

久しぶりに市役所に行きました。沢山の人が来ていました。市役所の職員の皆さん対応に大変そうでしたが、すごく丁寧に親切に対応されていたので感心しました。こんな時だからこそ、いつも以上に落ち着いて対応されるのは大変良いことで、見習いたいと思いました。

だんだん、体が悲鳴をあげてきました。夕方、かかりつけの整体(カイロ)さんが避難しているので、ちがう整体に行ってきました。なんとか、体をほぐすことができましたが、治療中にけっこな地震が来て、驚きましたが、その後家に戻ってブログか書いている今も頻りに揺れています。ちょっと精神的に良くないですよ。自然の地震と人災？の原発の恐怖に怯えながらの毎日ですが、震度5ぐらいでは、驚かなくなったのは慣れなのか、諦めなのか、いい加減にしてほしいですよ。



#####

避難所の守護神 その2 ... 三条市市長

負けてらんにはえ！ みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-04-11 14:22:36

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/45dc55bfdb181d500999a77883a6540e>

81d500999a77883a6540e



お会いするなり 第一声が … 「 いつも ブログ読
んでますよ! 」

スラリとした紳士 … なんともさわやかです。
気さくで 気どりのない 柔らかなもの腰は
初めてお会いするのに
気遣いをまったく感じさせません。
充分すぎるほどゆきとどいた避難所生活をさせていた
だけのもの
トップに この市長さんがおられてのこととうなづけま
す。

フレッシュ市長さん
これからも よろしく よろしくお願い致します。

* 市長さんにお会いする機会つくって下さった
ケンオー・ドットコム 坂井さん
… ありがとうございます。

#####

【南相馬市】全国各地からの支援物資を受取ってください

相双ゆたどさ ゆったりが、どっさり。～ふくしま相双～
(2011.04.11 11:48)

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/2685.html>

南相馬市原町区の前町青年会議所 (URL :
<http://www.jc450.com/>) に全国各地の青年会議所か
ら支援の物資が届けられています。



4/9(土)には、小雨
の降る中茨城県か
ら、笠間青年会議
所の方々が支援
物資を4tトラック満
載に南相馬市に。



原町青年会議所
では、寄せられた善
意の物資を解除の
見えない屋内退避
されている市民の
皆さんへお渡しし
ています。

(16:20 追記:お受取りいただける物資は、食品・飲料・
日用雑貨・衛生用品など)

※詳しくは、原町青年会議所へお越しいただきご確認
下さい。



祝祭日を除く、平
日の 10:00 ~
16:00 まで南相馬
市市役所すぐ東隣
の、原町青年会議
所まで支援物資持
帰りの袋などをご
用意のうえ、お越
し下さい。

#####

#####

恥ずかしくない行動を

南相馬市民(原町区) 新潟県長岡市南部体育館避難者

2011.04.07

※長岡大学学生を通していただいたご意見です
(原稿のパソコン入力もやっていただきました)

こちらにお世話になって二週間が経ち、隣同士が内
輪の話もできるようになりました。

心温まるおもてなしの数々、ありがたく涙の毎日
です。

それに反し、勝手な行動も目立ちます。私達はお客
様ではありません。トイレ、洗面所の使い方、消灯時間
も守れない。このような非常事態、すべてのものを大切
に感謝の気持ちを忘れずに生きてゆきたいものです。

いつになるかわかりませんが、帰れる日まで原町区
民として笑われることのないように過ごさせていただきます
ましょう。

#####

■ **編集より** 本震・津波から一ヶ月、避難されている
全ての方々が少しでも早く故郷に帰れる日が来る
ことをお祈り申し上げます。